

學長所感

Smile at people. It takes 65 muscles to frown, only 15 to smile.
(笑顔で接しないといふ。しかめ面には65の筋肉が必要です。笑顔ではたつたの15ですみます)。

んに笑顔で人に接しないということですが、それだけのことを行うのにしかめ面では55の筋肉が働き、笑顔ではたつたの15ですむと、いう説明までついているところが面白いと思っています。なにも好んで



笑顔で接しなさい

河西達夫

はどこと、だいたいのことは分かりますが、65とか15という具体的な数字については、正確なことは分かりません。おそらくこれらの数字は数が多い少ないという表現に過ぎないと思います。しかめ面や笑い顔に限らず、泣き顔もそうですが、こ

とか口とか、鼻や耳などの周りに集まつていて、これら顔面の窓を開けたり閉じたりするのが本来の役目です。ただこれらの筋肉は一端が顔の皮膚に付着しているため、筋肉が収縮すると、顔の皮膚も一緒に動いて表情を作ることになります。

んな楽しそうにお互いに歓談しながら食事をするときには、その人の性格が最もよく現れるといわれています。普段怒りながら食事をする人はあまりみかけたことがありません。そう考えると、入学試験

* * * * * '88 サマー

一講座(17)

第四十七号

〔研究題目と執筆者〕
ヒトはどうして癌になるのか
河西達夫

子・小野美沙子
方丈記の世界(続一)
丸山弘美
青森県における魚介類
の調理と行事への利用
状況
北山育子・澤田千晴
サブプライム危機後の
インド経済

宮野洋子・木村秀子・浅利侑
本学における医療秘書
課程履修者の意識調査
阿保順子
バレーボール実技試験
後の学生の意識調査について(第一報)～課題克服のための努力がも

して
安田智子・下山春香
全国栄養士養成協会
より表彰される
六月二十日に行わられた社団法人全国栄養士養成施設協会第50回通常総会において、東北

ことにより表彰されました。

ンシルであらわしました。エコを考えた個性的なバッグが出来上がり、受講者はとても喜んでいました。

研究題目と執筆者
ヒトはどうして癌になるのか
河西達夫

これはフイリピンの首都マニラにある交番や病院に貼つてあるポスターの標語です。普段、一般市民に接する多くの警察官や看護師さんに向けたものと思われます。私はフイリピンに行つたことはありませんが、最近フイリピンから来た留学生に聞いた話です。

A black and white portrait of Shigeo Sawa, an elderly man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left.

笑顔で接し 河

西達夫

験の面接では、受験生と食事をしながら直接すると一番効果があるようになります。「食育」という言葉を最近よく耳にしますが、この言葉のなかにも食事の楽しさ、マナー、そして感謝の気持ちを育てるという意味が含まれていると思われます。

ました。身近な家族
景色の画像がオリジ
ナルの現代アートのト
リビングに仕上がり、楽しく
講じていただけたと
です。

ました。食材の豊富な
青森を再認識した様子
で、準備した手作りの
ごまご飯を振る舞つて
和やかに終了しました。
「こころ和むお茶の
はなしと手作り和菓子
では、くずのお菓子を
二種類作り、煎茶など
もに味わいました。
参加者からは「お菓
子の作り方がよくわ
かつた」、また日本茶

サマー講座

(17)

(17)*

各科の特色をいかした
特 別 指 導

七月十日から十二日の三日間、各科一年生対象の特別指導が行われました。

被服科

「服飾産業を理解する」

一日目はCADが導入されている「シヤルム(縫製工場)」で、最先端設備や生産管理シ



二日目は「こぎん発祥の背景や歴史等を学びました。」

デザイナーへの道

二日目は卒業生でデザイナーとして活躍中の川端あき先生による「デザイナーへの道」というテーマでの講演がありました。また先

生の世界大会に出品した作品を含む三十五点に学生作品をまじえて、学生がモデルになり「ファッショントリオード」も行いました。学生は普段触ることのないオーダーメイドの作品に直接触れ、技術の高さや見えない箇所にも手を

育にも応用できる遊びがあり、参考になりました」との感想があり、充実した三日間を過ごしました。

内容は前年度を継続したもので、保育者として必要な安全に対する知識・実技の習得や水に親しむ活動など多くの体験をしました。救急法講習会を受けた学生は、「心肺蘇生

法を中心の実技指導ばかりにAEDの重要性と操作に関わる講義もあり充実していました」「人はいくつになつても勉強。常に最大限の努力をしなさい。好きな道に情熱を燃やしながら」とのメッセージも頂き、作品に対する真摯な態度を学ぶことができたと学生は喜んでいました。

また、水中ジャンケンや手つなぎ回りなど保育にも応用できる遊びがあり、参考になりました」との感想があり、充実した三日間を過ごしました。

の感想がありました。

保育科

「救急法講習会と水泳実習」

保育科は「救急法・

水泳実習を通して子ど

もの健やかな発達や安

全の確保を考える」を

目的的に行ないました。

内容は前年度を継続

したもので、保育者と

して必要な安全に対する知識・実技の習得や

水に親しむ活動など多

くの体験をしました。

救急法講習会を受けた学生は、「心肺蘇生

法を中心の実技指導のほ

かにAEDの重要性と

操作に関わる講義もあ

り充実していました」「日

頃から命の大切さや安

全にもっと関心を持

つべきだと思つた」な

ど、子どもを守る立場

の感想がありました。

また、水泳実習で

は、「水中ジャンケン

や手つなぎ回りなど保

育にも応用できる遊

びがあり、参考になっ

た」との感想があり、

充実した三日間を過ごしました。

の感想がありました。

また、水泳実習で

は、「水中ジャンケン

や手つなぎ回りなど保

育にも応用できる遊

私がはじめて弘前の方へ地を踏んだのは昭和三十九年三月の雪解けの頃でした。当時北海道から青函連絡船で本州に渡り進学することは高校生の私にとってたいへん憧れもありました。東北女子短期大学に入学できたのは母の薦めからです。その頃北海道には本学出身の若い卒業生が家庭科の先生として大勢頑張つており、地域の人たちにとけ込み交流されている姿を母が知人より聞いていたようです。

親一人の状況で進学させてもらえた意味を感じ取れたのは入学して学長先生の講話を拝聴してからでした。母は高等小学校を出て住み込みで電話交換手をし、職場で一緒になった女学校の方にローマ字を教わった話をして、上級で果たせなかつた進学の夢と、戦争で夫を失つたことで教育の重要性を

お話をされ、先生は家族のため奮起し上京して勉学に励み資格を取り、帰郷して和裁教室を始めたこと、家庭を守るには女性も教育が必要で学びたい志のある女子に門戸を開いてきたこと、そして今日の学園になるまで幾

隨 想

母への思い

学務課長 鎌倉 ミチ子



多の苦境を乗り越えてきたことなど、やす先生の思いを熱く語られました。

学長先生は、やす先生の思いを受け継ぎ、「為せば成る為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬ成りけり」という上杉鷹山の言葉を引き、目標を持つてしっかりとお姿で、さらにお声での講話を、私どもはいつも感動しながら拝聴しました。この講話で、勉強が苦手であつた私ですが、母の思いを少しでも叶えられたらと思つたものでした。

学園では春の訪れとともに毎年卒業式、入学式が行われますが、どちらの式にもお母様が晴れやかな面持ちで臨まれておられます。これまで育んできられたお子さんは、卒業式・入学式はもとより、これから的人生の節々でお母様の姿を思い浮かべることでしょう。

私は、十二月二十七日から一月四日まで、オーストラリア随一のリゾート地、ゴールドコーストに程近いサウスポートという町にホームステイをしました。以前から英語が好きで、二年前偶然手にしたパンフレットで語学研修と保育園実習体験があるコースをみつけたのがきっかけです。気候はちょうど日本と同じ反対で、真夏のような暑さでした。

ホストマザーはバラさんという明るくおしゃべりなおばあちゃんで、友人やお孫さんたちがよく遊びに来るにぎやかなお宅でした。

保育園での体験

オーストラリアの新学期は一月にはじまり十二月に終わります。

おやつや昼食など、園で食べるものは家庭から持参するため、子どもたちはそれぞれ違うものを食べています。保育内容も子どもたちの自主性を尊重した自

異文化交流體驗

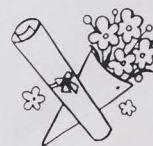
保育科一年 工藤 安菜



ホストマザーのバーバラさん家族と
後列中央がバーバラさん、右が丁藤さん

ホストマザーのバーバラさん家族と
後列中央がバーバラさん 右が工藤さん

感動しました。車で連れて行つてくれた時、「外国人はオーストラリア中どこにでもカンガルーがいると思つてゐるのよ!」と言つて笑つたり、私が元旦日、日本から持参したおもちで「おしるこ」を作つてお孫さんたち皆に振舞つた時には、バーバラさんだけが完食し、好奇心が強いすてきな方だなど、とても魅力を感じました。



思い出の学生生活

絞り染めの着物を制作して

被服科二年 澤田里奈

私は被服科に入学して、ブラウスやスカート、着物や帯など様々な作品を制作してきました。その中でも一番心に残っている作品は、卒業制作の着物です。初めて卒業制作を何にしようか迷っていましたが、先生方の勧めや先輩方の作品を見て、私も挑戦してみようと思いました。

反物に印をつけることから始まり、次は图案を考案しました。なかなかピンとくる図案が



卒業制作の着物の前で
左から二番目が澤田さん

成長できた二年間

保育科二年 赤石愛子

私にとって短大生活は、楽しかったことも多く不安で一杯でした。大変だったことも含めて毎日がとても充実していました二年間でした。

入学当初は、初めて秋田を離れて生活する

が多々不安で一杯でした。講義では、保育についての知識や技術を学ぶことの他に、製作や手遊びなどみんなの前で発表する実技もあり、学外実習の時にとっても

役立ちました。

また授業の間に行事もさまざまありました。特に印象に残っているのは二年の体育大会でねぶた祭りのはやしに合わせ、鬼と武士に分かれてい踊った応援合戦で、練習の時間は少なかつたものの、本番で



体育大会の応援合戦で 右端が赤石さん

を工夫するなど、保育科の団結力の強さを感じました。また学友会役員を務めた一年間は、より一層充実感を得ることができました。最初は手際が悪く焦るばかりでしたが、行事をこなしていくごとにメンバーとの絆が深まり、徐々に余裕を持てるようになりました。学園祭では

音響を担当し、周りと連携をとりながら進めました。無事に終えた時、達成感で一杯でした。短大での二年間は学ぶことが多く、自分自身を見つめ直すきっかけとなり、とても成長できた二年間でした。これを糧に、今後も頑張っていきたいと思います。

つイメージがわいてきました。出来上がりが楽しみになりました。

力を出し切った学園祭

生活科二年 須藤千恵美

短大での生活を振り返つてみると、毎日遅くまでの講義や多い課題に苦しみながら毎日楽しく、とても充実した学生生活を送ることができました。

その中でも、責任者を務めた学園祭の展示は、私にとって思い重なる経験ができて、本当に良かったと思いました。

年は「日本の四季と祭り」をテーマに、行事食をメインに展示することになりました。

事前のアンケート調査、献立作成や材料発注、当日の調理と作業を進めましたが、どの

ように作業を進めれば良いか分からず、とても苦労しました。しかし、授業の終了時間が遅ったり、実習や就職活動で忙しい中、時間を見つけみんなで協力しながら、また担当の先生にアドバイスを頂きました。お陰で、行事食の他にも、生活科の紹介、教職部門、医療部門、介護部門、試食コーナーと、自分たちの力を出し切った展示にする



学園祭展示室で笑顔でピース♡
後列左から二番目が須藤さん

ことができたと思いま

す。また、この二年間に社会に出てからも役立つ様々なことを学ぶことができましたし、良き先生方と仲間に恵まれとても感謝しています。これを忘れず、新社会人として頑張って行きたいと思います。



柴田女子高校

全國入賞

全国の各種コンクールで優秀な成績を収めた三生徒が市長を訪ね報告しました。相馬市長は「すばらしい活躍です。これからも大いに頑張ってください。」と三人をたたえていました。三人の受賞作品は次の通りです。

最優秀賞
3年 齋藤 智美
「まちぐるみ
子どもを守る
地域の目」

芸術教室

今年の視聴覚教室の一環として東北女子大



全国高等学校総合体育
大会 平成二十三年度
大会入口一ガン

「北の空」君に
無限の可能性」
1年 石田由真

第一部では一戸先生のショパンやドビュッサーのピアノ、第二部では山崎先生のイタリア歌曲が披露され、生徒は感動し心打たれました。



柴田幼稚園

おもちを食べて
元気もりもり

「泣いた赤鬼」は年長
本物のように大きな
十四日になりました。



組共同の力作！ホー
ルには全園児の雛人形
とお母さん達の手作り
作品もありました。



經理專門學校

医療事務・パソコンを
みつちりと勉強できる
ことです。それぞれの
目標に向かって検定試
験を積極的に受験して
成果を出しています。
努力した姿は必ず結
果に結びつくと信じて
日々勉強。学生たちは



この一年の成長を実感
していると思います。

のシステムなど高度な技術を駆使した完成度が高い作品発表に、聴講した父母や在校生、企業関係者らは熱心に聞き入つてました。

黒石地区広域生活改善グループ連絡協議会を担当する卒業生の笹森得子さんから、「津軽の郷土料理を学びませんか」というお話をしがあり、十二月十八日に栄養専門学校で、

方を直接指導して頂きました。
学生は質問したり、その実技を間近かで見て手際よく料理を作り上げていました。
「家の味と少し違うが、作り方を覚えられが、良かつた」初めて

A group of people in a kitchen, including a woman in traditional Korean clothing, are gathered around a large stainless steel pot, likely preparing a traditional dish like kimchi.

食べた」「就職してから是非このレシピを活かしたい」などの感想が寄せられ、有意義な伝承会でした。

栄養専門学校

「郷土料理伝承会」を実施しました。

食べた」「就職してから是非このレシピを活かしたい」などの感想が寄せられ、有意義な伝承会でした。



盛況だった進学相談会

県産食材を使った料理【栄専校】
来場者も興味津々【栄専校】いろいろな遊びが体験できて、
子ども達も大満足【保育科】校内の展示を期待させるバルーンゲート
【専門校】

目で見る学園祭



有志による吹奏楽と一輪車の華麗なる演技【特別企画】



学生達の思いがこもった作品【被服科】

笑顔がステキな看板息子たち
【コンピュータ校・屋台】

懐かしい味をめし上がり【生活科】



なりきって楽しませてくれました【後夜祭】



特徴ある各部の展示【文化部】



閉会式・実行委員の皆さんお疲れさまでした

デザイナーとモデルの息の合ったステージ
【被服科・ファッションショー】

連載

「この本 こんな本」

(46)



『星の王子さま』
サン=テグジュペリ著
河野万里子訳
新潮文庫

被服科1年 千葉綾乃

『星の王子さま』

サン=テグジュペリ著
河野万里子訳
新潮文庫

被服科1年 千葉綾乃

その壊れる大きさが違うので、相手を思いやることが必要です。また、人とのつながりが大切で、全てのことを一人ですることは私には無理です。周りの人と支え合っていかなければ生きていけません。私の思う大切なものも目には見えないです。

砂漠の真ん中で水がなくなり、一人で井戸を探し歩き、王子さんは疲れて寝てしましました。僕はそつと抱き上げて歩きながら、胸がいっぱいになりました。理由は「自分が壊れない」という気があり、「地球上でこれ以上に壊れやすい宝物はない」という言葉が強く心に残りました。大人も子どもも関係なく、人それぞれ、自分の大切なものは違います。目の前のものの外見が全てではなく、心で感じて分かることが沢山あるということを知らされました。私も「星の王子さま」を読んだ一人として、大切なものを星によつて時間の長さや大きさが違うのは、著者のパイロットの経験が生かされている発想や世界観によるものと思います。

文武両道の東屋全美さん

あずまやともみ

はいつも一緒にです。
東屋さんはとても積極的な性格で「山の家研修」ではレクリエーションのリーダーを担

当しました。また、元陸上部課題や講義の準備が必要な時は放課後残り、一生懸命ノートをまとめたり勉強したりして

います。漢字検定では「優良者」として表彰され、前期定期試験でも優秀な成績をおさめていました。

さらに元陸上部といふこともありスポーツ万能で、体育のバレーやバスケの時にも大活躍している、まさに文武両道という言葉がピッタリの人です。

東屋さんと一緒に生活科を盛り上げ、残りの学生生活がもつともっと充実したものとなるようにつくり上げていきたいと思っています。

こんな自慢のできる東屋さんと一緒に生活科を盛り上げ、残りの学生生活がもつともっと充実したものとなるようにつくり上げたいと思つています。

私が紹介する本は、「星の王子さま」サン=テグジュペリ著(河野万里子訳)です。広く知られている本ですがまだ読んでいなかつたので、この機会にじっくりと味わいながら読んでみました。

内容はある星の王子さまが主人公で、もう一人の僕が主人公となり物語が進んでいきます。王子さまはいろいろな星を訪れ、それぞれの星で王様や実業家、ガス灯の点灯人など多くの人と出会います。

星によつて時間の長さや大きさが違うのは、著者のパイロットの経験が生かされている発想や世界観によるものだと思います。七番目に来た「地球」で僕に会い、その会話の中で「大切なも

の」を知るのです。砂漠の真ん中で水がなくなり、一人で井戸を探し歩き、王子さんは疲れて寝てしましました。僕はそつと抱き上げて歩きながら、胸がいっぱいになりました。理由は「自分が壊れやすい宝物を抱いている」「地球上でこれ以上に壊れやすい宝物はない」という気があり、「地球上でこれ以上に壊れやすい宝物はない」という言葉が強く心に残りました。大人も子どもも関係なく、人それぞれ、自分の大切なものは違います。目の前のものの外見が全てではなく、心で感じて分かることが沢山ある

ことだけではない。人を笑わせ、いるだけでおもしろい存在なのに、授業中は真面目で積極的に発表もするし、けじめのつけられる人である。ほかにもバスケットボール部副部長として活躍するなど、あらゆる場面で和美の柄が滲み出ている。また、保育科をリードしていくといった強い意志が、行事や団体活

保育科の元気印

わが自慢のクラスメート

休みのお弁当、専門教室への移動、体育の時



クラスの仲間と
前列右が東屋さん、前列左が阿保さん

動の中で伝わってくる人、二人と伝染するの

自慢できるクラスメートだ。そのパワーが一

人、二人とまとまりがある

保育科一年 鳴海 裕子

ことだけではない。人

が保育科には独特なパワーとまとまりがある

一年も終わりに近づいている今、みんな

正直言つて彼女の第一印象は「おはよう！」が学校での彼女の第一声だ。

この声が教室に響くと

みんなが振り向く。

一年も終わりに近づいている今、みんな

自分自身も居心地のよい

場所であると感じてい

ます。自分自身も居心地のよい

場所であると感じてい

ます。それは和美のよう

に明るく楽しい、個性

豊かな仲間がたくさん

いるからなのだろう。

そんなみんなも、私は

和美の魅力は元気な

美だ。さらに仲間がたくさんいるからなのだろう。

中央が北山さん、左が鳴海さん

美だ。



四大学合同茶会

【人事担当者から】

十一月十一日、青森銀行人事部中谷有一氏による、「仕事とは」の講演がありました。

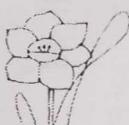
躍する卒業生による体験談など、本格的に就職活動を迎えるにあつて、自分の進路を考えるよい機会となつたようです。

【四大学合同茶会】

十二月二十日、四大学合同茶会が本学の礼法室で開催されました。この茶会は、企画は各大学が順番に受け持っています。今回は、弘前学院大学、東北女

子短期大学の三大学で行いました。私たち部員は、第一茶席では亭主側、第二茶席では客側として参加しました。私は、今までのお稽古での成果を十分に發揮することができ、とても満足しました。弘前学院大学の茶席では普段、稽古している裏千家とは違う作法を見ることがで

茶道部部長
生活科二年 工藤 愛



路ガイダンスが行われました。企業の方を招いての講演やジョブカフェあおもりのワークショップ、各方面で活躍する卒業生による体験談など、本格的に就職活動を迎えるにあつて、自分の進路を考えるよい機会となつたようです。

【四大学合同茶会】

十一月十一日、青森銀行人事部中谷有一氏による、「仕事とは」の講演がありました。

躍する卒業生による体験談など、本格的に就職活動を迎えるにあつて、自分の進路を考えるよい機会となつたようです。

【四大学合同茶会】

十二月二十日、四大学合同茶会が本学の礼法室で開催されました。この茶会は、企画は各大学が順番に受け持っています。今回は、弘前学院大学、東北女

子短期大学の三大学で行いました。私たち部員は、第一茶席では亭主側、第二茶席では客側として参

加しました。私は、今までのお稽古での成果を十分に発揮すること

ができ、とても満足しました。弘前学院大学の茶席では普段、稽古している裏千家とは違う作法を見ることがで

き、興味深く拝見しま

キャリアガイダンス

大学時代のテニスサークルでのエビソードなどを交えながら、働くことの意義、そして企業に求められる人材となるためにこれからどのように学生生活を送るべきかをお話してくださいました。

【卒業生の体験談】

十一月下旬から3週にわたり、現場で活躍している卒業生に就職体験を語っていただきました。

「笑顔を忘れないように心がけています」

活きと歌つたり踊つたりしていました。また女性の方は、「今日化粧したのよ」と嬉しそうに話してくれました。利用者の方やセンター職員の方々とたくさん触れ合い、温かさを得てきました。知的障害についてさらに勉強し、また機会があれば参加したいと思いま

た。利用者の方やセンター職員の方々とたくさん触れ合い、温かさを得てきました。知的障害についてさらに勉強し、また機会があれば参加したいと思いま

した。

【ボランティア】

十二月七日に大鰐疗

育センターで行われた行事にボランティアと

して参加し、主に知的障害を持つ方と懇談し

たり、喫茶コーナーの手伝いをしました。利

用者のみなさんは活き

した。その後の茶話会ではお互いの茶道部の様子を話しあつたり、部長同士がアドレス交換をしたりして、今後の活動に向けて気持ちを新たにする機会になりました。

【四大学合同茶会】

十二月二十日、四大学合同茶会が本学の礼法室で開催されました。この茶会は、企画は各大学が順番に受け持っています。今回は、弘前学院大学、東北女

子短期大学の三大学で行いました。私たち部員は、第一茶席では亭主側、第二茶席では客側として参

加しました。私は、今までのお稽古での成果を十分に発揮すること

ができ、とても満足しました。弘前学院大学の茶席では普段、稽古している裏千家とは違う作法を見ることがで

き、興味深く拝見しま

た。

【ボランティア】

十二月七日に大鰐疗

育センターで行われた行事にボランティアと

して参加し、主に知的

障害を持つ方と懇談し

たり、喫茶コーナーの手伝いをしました。利

用者のみなさんは活き

ました。

【ボランティア】

十二月七日に大鰐疗

育

学外研修旅行

九月十七日から二十日まで被服科二年生が、京都研修旅行に行つてきました。

私はとつて初めての京都は、歴史と伝統に埋もれた古都というイメージがありました。が、行つてみると東洋の一の近代建築といわれる京都駅ビルやオフィスビルなどが立ち並んでいたのです。伝統を受け継ぐ風情のなかに、新しい時代を切り拓く心意気が感じられました。

最も興味を引いたのは川島織物中央技術センターです。

日頃、見ることが出来ないような、豪華な



京都国立博物館にて
後列右から3番目が盛さん

被服科二年 盛 なおみ

幹線のシートなど、幅広く作られていたのは

予想外でした。布がいかに私たちの生活のなかに取り込まれ、重要な役割を果たしているかがわかりました。

また、新繊維の開発

が布を進化させ、私たちの生活を便利で快適

になりました。

研修旅行で学んだ貴重な経験を大切に、今後社会に出てからも生きていきたいと思います。

秀芝寮のクリスマス

寮で、恒例のクリスマス会が行われました。

会には寮監長先生をはじめ、学務・学生課長、各科の先生方やお世話になっている寮監、職員の方々をご招待し、寮生による様々

な余興で楽しい時間を過ごしました。

寮長による開会の挨拶後、寄心寮男子による手品や柴田女子高校バスケットボール部寮

2時間ずっと笑いの絶えない、内容の濃いクリスマス会となりました。

清風寮の一日

清風寮の起床は朝七時で、朝食後に全員が各区域の掃除をしてから登校します。

帰つてからの寮生の

はたくさんの方々の温かさにふれることであります。入寮した当時は、知らない土地での集団生活に戸惑いもありました。でも、毎日大勢の仲間と顔を合わせ生活していく中で次第に不安も消え、気がつくと寮生同士がなんでも話せる家族のような存在になっていました。

私は卒業と同時に佐井村に戻りますが、また笑顔で再会

できるときを楽しみに頑張っていきたい

刺しゅうを施した着物や帯、綵帳などが展示されていました。また

学園寄宿舎の生活

秀芝寮のクリスマス

十二月十五日に秀芝寮で、恒例のクリスマス会が行われました。

会には寮監長先生をはじめ、学務・学生課長、各科の先生方やお世話になっている寮監、職員の方々をご招待し、寮生による様々

生のクリスマスの雰囲気いっぱいの歌やダンス、ビンゴなどプログ

ラムがびっしり。国旗

の色当てなどのクイズ

では先生方も一緒に参

加し、大いに盛り上がりました。最後は役員

全員による創作ダンス

で今年のクリスマス会を終えました。

楽しみの一つは夕食で、カレーの日は特に会話が弾みます。夜七時になると、その日の当番が連絡事項や自分の思

いを全体に伝えるので

すが、話が面白い人

もいて、みんなの心

を和ませてくれます。

その後の自由時間に

四年生は、一人部屋

で卒論に向か集中勉

強。時間に余裕のある人は娯楽室に集ま

つてテレビを見たり、

学校での出来事や芸

能ニュースで盛り上

がり、時には注意さ

れることも……。

清風寮寮長 児童学科三年 白畠 志帆

事では、みんなが分担して協力し合い、团结力が強い清風寮の良さを發揮しています。

日々の寮の仕事や行

事

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が

が